

二中の木

学校報
第17号
H28/03/12



能代市立
能代第二中学校
TEL52-5138

春に旅立つ

みなさんに贈る言葉

卒業号

震災から五年

多くの尊い命を奪い去った悪夢のようなあの日。東日本大震災から昨日で五年が経過しました。式辞の冒頭ではあります、改めて亡くなられた方々のご冥福とさらなる復興を心よりお祈りいたします。

春の輝きが

年明けからの冬と春とのせめぎ合いは、例年以上に激しいものでした。しかし、冬を乗り越え故郷のシベリアの地に帰ろうとするガンの群れを押し留めることが出来ないのと同じように、辛い別れの春の訪れを拒むことは出来ません。ゆっくりとではあっても、確

実に春の息吹が聞こえ始めました。



集まっていたいただいた皆様へ

本日、卒業生の前途を祝福しようと、能代市教育委員会委員長 木村高寛様をはじめとし多数のご来賓の皆様、そして今日までの卒業生の日々をしっかりと支えてくださった保護者の皆様にご出席いただき、第六十九回卒業証書授与式を挙行できましたことに心からお礼申し上げます。

ただ今、86名の卒業生に卒業証書をお渡ししました。本当におめでとうございませう。そして保護者の皆様、都合九ヶ年の義務教育の全課程を修了するという大きな区切りを迎えられ、感慨

もひとしおかと存じます。教職員を代表して心からお祝いを申しあげます。おめでとうございませう。

二中の先頭に立ち

今年度、二十二年ぶりに能代第二中学校に勤務した私が出会った皆さんは、校訓「自主」「不屈」「友愛」に基づき、愛校と向学の精神を確かな骨格として生き生きとした学校生活を送っていました。

本校は県下に名だたる伝統校です。しかしそれは、一万八千名を超える有為な人材を輩出してきた長い歴史のある学校だからではありません。校訓による二中魂を自分の後に続く後輩へ大切に大切に何代にもわたって引き継いできた歴史があるからです。後輩は、引き継いだ二中魂を精一杯に研ぎ輝かせ、そしてまた後輩へと、大切に大切に引き継いできた歴史があるからです。今ここに、皆さんも立派に校訓の精神を実現しようと努め、後輩へ引き継ごうとしています。

皆さんとの思い出の一つ一つに懐かしさと感謝と激励の言葉を添えたいのですが、残念ながら私に許された時間には限りがあります。全校二百九十六名に共通する思い出のいくつかに触れ、ここに集まった全員で卒業生との別れを惜しみたいと思います。

二中祭の思い出

まずは、夏休み明けの二中祭。クラス合唱の場面では、指揮者を見つめて



精一杯に歌う顔、顔、顔がありました。クラス誇りと赤ベナントをかけて競った各コンクール部門では、誰にも負けず、誰にも負けない。嬉し涙や悔し涙を流しました。転校していった高橋一は、突然の訪問は嬉しい出来事でした。エディンングでは、二中祭の歌を作ってくれた信田さんと一緒に、体育館が揺れるほど大きな声で肩を組んで歌いましたね。

二中若の思い出

そして、爽秋の能代の夜に一段と大きく強く光を放った二中若。地域とともに歩もうの思いを「有志有途」という生徒会テーマに込め先導、田楽、踊り、太鼓、笛、曳き手に保護者、地域応援隊、そして教職員が加わり、優に四百名を超える大行列による堂々の運行でした。沿道に詰めかけた二十万人のお客様の掛け声や拍手が、今も思い出されます。二中若の成功は、この故郷能代を盛り上げていこうという二中若運行の目的をしつかりと果たせた瞬間でもありました。

そればかりではありません。熱く練り歩きながらも二中としての協調は決して乱さず、自分自身の熱い思いを実に見事にコントロールしてみせたのでした。

目的がしっかりと共有できたときの
集団の底力を二中生に見たという
お褒めの言葉を各方面から頂戴し
ました。行動に動と静が際立つ誇
るべき三年生でした。



二中、王者の戦い

さて、卒業生の皆さんは私が総体激励会で「二中生なら王者の戦いを」という言葉を使ったのを覚えていますか。王者の戦いとは、「逆境の時こそ顔を上げ、勢いあるときこそ脇を締めろ。」という戦いのことを言います。今度は、人生に於いて王者の戦いを挑んでください。そして、校訓「自主」「不屈」「友愛」による二中魂の実現は、卒業後も生涯を通して成し遂げべき宿題として脳裏に留めていてください。

さあ、お別れです

別れの時がいよいよ迫っています。この壇上からは86名が持ち寄った能代第二中学校で過ごした三年間の自

信と誇りが、より一層眩しい光を放っています。目に焼き付けておきたいと思えます。

春雷の

声に覚悟も

定まりぬ

秋多

春雷は、春の訪れを告げる大いなる



自然の声。踏み出す新たな一歩が潔いものとなるように、覚悟を促す天にとどろく声です。

冬の寒さや受検の緊張にこわばった頬をゆるめ、柔らかな笑顔と志を見定め

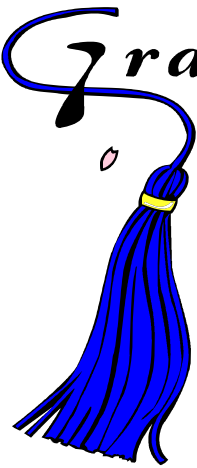
た清々しい眼差しで、大胆に一步を踏み出してください。あらためて、卒業生のこれからの活躍と幸せをお祈りして祝辞といたします。

【終】

保護者の皆様、地域の皆様へ
ご卒業おめでとうござ
います。皆様のこれまで
のご協力に心から感謝
申し上げます。
紙面を借りてお礼申し
上げます。ありがとうございました。



Graduation



卒業
おめでとう